



平成30年度 施政方針

町政運営に対する 基本的な考え方

平成30年度は、固定資産税の超過課税の期限を迎える年になります。これまでの間、引き続き見込まれる財源不足に対して更なる行財政改革と歳入確保策の検討を進めるとともに、各種団体の推薦や公募委員による箱根町行財政運営を考える町民会

議を設置し、提言書を取りまとめいただきました。また、地方行財政等の学識経験者からなる箱根町行財政改革有識者会議を立ち上げ、専門的な見地からご議論をいただいているところでもあります。

今後、2019年度からの行財政運営のあり方について最終的に決断することとなりますが、特に重点的に取り組むべき事項を次のとおりとして、予算配分

を行いました。一つ目、「人口減少対策の推進」であります。

お話し居住の実施、移住・定住情報パンフレットの作成のほか、若い世代にターゲットを絞った、住宅取得補助や家賃補助、はこねっこ誕生祝い金といった助成制度の創設などに取り組んでまいりました。

これまでの定住化施策を引き続き実施するほか、町民の自主的な取組に対して、財政的な支援を行う活力あるまちづくり事業制度をリニューアルして実施してまいります。

二つ目、「インバウンド観光の推進」であります。

富裕層の来訪が期待されるオーストラリアや、経済成長が著しいベトナムへのセールスプロモーションを実施してまいりましたが、引き続き訪日客の伸びが見込まれることから、箱根コンベンションビューローとともに、セールスプロモーションやファミトリップを実施するほか、多種多様なコンテンツによる誘客宣伝を展開してまいります。

また、箱根DMOが本年4月から始動いたしますことから、リサーチ&マーケティング業務や対外セールス業務などの業務

を中心に財政的な支援を行い、第2次箱根町HOTO21観光プラン基本計画に基づき、官民協働体制を強化し、引き続き成長が見込めるインバウンド観光の推進を図ってまいります。

三つ目、「少子高齢化対策の推進」であります。

策定初年度となります第7期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき施策を展開するほか、昨年3月に連携協定を締結した星槎大学が実施するインクルーシブ（包括的）コミュニティ事業に協力し、多世代共創による人生100歳時代の新たなコミュニティモデルづくりを進めてまいります。

また、少子化につきましては、第2子以降の保育料無料化や産後ケア事業などの実施による子育て家庭への支援のほか、総合的な少子化対策に取り組んでまいります。

主要な施策と 取組事項

(1)基本目標1「皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり」

健康づくりや食生活改善へつ

の受験者には検定料の半額を補助し、国際観光地として、おもてなしの心をもって外国人観光客に接することが出来る人づくりを進めてまいります。

文化財関連施策につきましては、明治150年の節目を迎えることから、郷土資料館において特別展を開催するとともに、

来年に設置400年を迎える箱根関所におきましては、プレイベントの開催や記念イベントに向けた準備を進めてまいります。スポーツ関連施策につきましては、箱根路森林浴ウォークの開催やグラウンドゴルフ、ソフトバレーボール大会の開催などを通じて、生涯スポーツの推進を引き続き図ってまいります。

なると取組を進める、はつらつ町民健康教室を開催するほか、温水プールを活用した水泳教室などを引き続き実施し、健康生活の推進を図ってまいります。

また、小田原医師会箱根班のご協力もいただきながら、特定健康診査や後期高齢者健康診査、各種がん検診の未受診者への受診勧奨や受診しやすい体制づくりのほか、女性特有のがん検診については、特定の年齢に達した方に対して無料で検診を実施します。

地域医療体制の充実につきましては、医療機器等の購入に対する補助等を実施するほか、休日急患当番医制度も実施し、町内医療機関におけるかかりつけ医制度の普及促進を進めます。

日常生活や育児のサポートをする産後ケア事業は、制度の充実を図ってまいります。

子育て期に関する施策につきましては、昨年完成した宮城野保育園内に、新たに子育てサロンを開設し、地域の子育て支援拠点施設として、育児不安解消や育児支援に努めてまいります。施設整備等につきましては、仙石原幼児学園の3歳児保育室等へエアコンを設置するほか、安全で安心な保育環境を整えて

(3)基本目標3「誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり」

国際交流関連施策につきましては、昨年、ニュージラランドのタウポとの姉妹提携が30周年カナダのジャスパールとは45周年を迎えた中で、親善訪問の受け入れを行い友好親善交流を深めてまいります。

仙石原地内の町道仙1号線の舗装打換工事を完成させるほか元箱根地内の町道箱1号線につきましましては、道路線形改良に向けた設計委託や土質調査委託を行ってまいります。また、宮城野地内の町道宮14号線につきましましては、拡幅・歩道整備を進めてまいります。

サイクリングコースとして位置付けている仙96号線は、快適なサイクリングをお楽しみいただけるよう整備を進めます。また、神奈川県が整備を進めております、県道723号関本

まいります。

また、幼児学園、幼稚園、保育園、小・中学校や放課後児童クラブへ図書を整備をふるさと納税の寄附を原資に進めてまいります。

〈地域福祉・障がい者福祉関連施策〉

地域福祉の推進役となる町社会福祉協議会のほか、民生委員・児童委員、自治会、ボランティアなどの協力により課題解決を進め、箱根町地域福祉計画の基本理念である「人とひと・心と心との交流で、みんなが幸福になる交福のまち はこね」の実現に向け、尽力してまいります。

障がい者福祉関連施策につきましては、タクシーの利用券や自動車燃料費への助成制度などを通じて在宅重度障がい者への支援を引き続き進めるとともに、障がい者の創作活動や社会参加への支援を引き続き行ってまいります。

〈高齢者福祉・介護関連施策〉

町民主体での実施を目指している、買い物支援・ゴミ出し支援等の生活支援サービスや介護予防サービスについて、生活支援コーディネーターを町社会福祉協議会に新たに配置し、地域における高齢者の生活支援体制の確立を図ってまいります。

認知症対策につきましては、初期の支援を包括的、集中的に行う認知症初期集中支援チーム

員会議を1市3町で共同設置し、自立生活のサポート体制の構築を図ってまいります。

さらには、介護人材確保のための介護従事者等支援事業を町独自の制度として引き続き実施してまいります。

〈社会保険関係施策〉

国民健康保険につきましては、県が保険財政運営の責任主体となる新たな制度への移行初年度を迎えます。町では、被保険者証の発行のほか、保険料の賦課・徴収、保険給付の決定等を引き続き行ってまいります。

なお、引き続き厳しい財政運営が予想されますことから、被保険者の特性に応じたきめ細かい保健事業の実施などによる歳出削減を図るとともに、収納率の向上を図り、健全な国保財政運営につなげてまいります。

介護保険制度につきましては、介護保険料について見直しをさせていただきますが、介護給付費の適正化を図るとともに、利用者の自立支援や重症化予防、高齢者の暮らしを地域全体で支える地域共生社会の確立に向けた取組を積極的に進めてまいります。

(2)基本目標2「未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり」

〈学校教育関連施策〉

園・小・中分離型一貫教育の基盤となります箱根教育については、箱育、知育、徳育、体育という4つの取組を引き続き行い、教育立町への挑戦として、さまざまな教育施策を展開してまいります。

このうち、外国語教育につきましては、町内在住のすべての中学3年生と、1、2年生の希望者を対象として、実用英語技能検定3級受験者の検定料の全額を補助し、英語力の向上に一層力を入れてまいります。

また、箱根土曜塾の運営につきましては、昨年も早い中学3年生の部活動終了後に開始し、期間を延ばして実施してまいります。

学校施設整備につきましては、箱根中学校校舎の長寿命化改良工事に着手するほか、小学校トイレの洋式化など、教育環境の向上を積極的に進めてまいります。

〈生涯学習関連施策〉

高校生以上の町民を対象に、実用英語技能検定3級受験者には検定料の全額を、準2級以上



〈男女共同参画・国際交流関連施策〉

町内には「かながわ女性の活躍応援団」企業として、女性プロジェクトチームの設置や、働きやすい職場環境の構築などに